

DEPARTMENT OF PRIME MOVER ENGINEERING AND MECHANICAL ENGINEERING

東海大学機友会々報

秋 三二先生筆

22号

Kiyu

東海大学機友会事務局

湘南校舎 動力機械工学科事務室
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117
TEL:0463-58-1211内4321 FAX:0463-59-8293
発行人 伊藤和義 編集 山口則雄
印刷 信友印刷株式会社 TEL:03-3444-2481(代)

台湾訪問記

歓迎東海大学機友会莅臨高雄

台湾到着

東海大学機友会同窓会が海外で初めて実現した。機友会台湾支部同窓会が発足したためである。伊藤機友会会長及び理事等の十五人にて、平成九年二月五日午前中に羽田を出発し、夕方には台湾高雄空港に降り立った。到着ゲートにて陳敦化台湾支部長達により横断幕「歓迎東海大学機友会莅臨高雄」を掲げての盛大な出迎えを受けた。

台湾支部長

台湾支部長の陳さんは、東海大学機械工学科を昭和四十二年卒業。台湾にて紀光公司なる機械関係の貿易会社を設立して現在は社長。最近、機友会会報二十号に投稿を頂



中国造船股份有限公司ロビーにて

いたり、平成八年の機友会同窓会懇親会にも出席されている。そんな事情から台湾に機友会の支部を設立しようと言うことで理事会にて決定。早速、陳さんと綿密な打合せのもとに台湾支部同窓会が発足し、今回が第一回目となる。

謝謝の同窓会

到着後バスにて移動し、陳さん紹介の台湾最大の造船企業「中国造船股份有限公司高雄工場」を見学した。その夜、機友会台湾支部同窓会が開催され(陳さんと夫妻主催の夕食を兼ねた懇親会)、陳さんより、支部同窓会が台湾高雄の地で開催を心から感激していること挨拶、伊藤会長から支部同窓会の発足の祝いの挨拶、河西前会長、飯島理事等の挨拶及び各理事の挨拶紹介等で瞬く間に盛りあがった。特に台湾の仕来りでは酒宴の席で一人で飲んではいけない。飲むときに、相手を見ながら、酒器を掲げつ「謝謝(シエシエ)」といつて全部飲み干し、最後に飲み切った証に酒器を傾けて相手に見せること。これには酒の弱い私は閉口した。宴では陳さん一八番の島倉千代子節を披露され拍手喝采だった。

真夏の公園散策

翌二月六日は、朝から台湾最南端の「墾丁公園」の散策に出かけた。ここは二月が一番良い季節で、特に気温は二〇度前後で、広大な野鳥の楽園であるとの陳さんの説明。高雄から陳さんと夫妻達の案内で墾丁公園まではバスにゆられて約二時間。着いてみると、気温二九度の真夏だった。南国特有の花が咲き乱れ、鳥の声も聞える。三、四キロ歩いて



台湾支部懇親会

台湾最南端の半島が見えるという高台の見晴らし台に着いた。ここからは太平洋と台湾海峡が一望。楽しみにしていたものを目をこらして見た。波しぶきだ。これは半島寄りの青い海の中に数秒白く三日月状に出れば消えた。遠くからでは見えにくかったが、これが太平洋と台湾海峡とがぶつかる出来る「波しぶき」という地球物理現象だ。日本の鳴門海峡の親方といった所で、面白さは格別。

二日目の夜

その夜、今度は機友会主催の海鮮料理による夕食が開かれた。二日目ともなり、話す内容も、より親密度も増し、台湾仕来りの「謝謝」飲みもすっかり板についた。ついに全員カラオケ、いや全員での歌合戦となった。東海大学の建学の歌も大声で合唱した。すっかり陳さん達と台湾支部同窓会での一体感を満喫し、翌日に帰国した。陳台湾支部長には台湾滞在中は大変にお世話になり感謝致します。今後の機友会台湾支部との交流が楽しみです。

(記 機友会理事 岩堀邦男)



水と空気と環境の明日を考える...

荏原グループ

荏原製作所・荏原サービス・荏原プラント建設・マツボー
荏原環境エンジニアリング・荏原エンジニアリングサービス
荏原電産・荏原シンワ/大岩機器工業所・荏原商事 他

報告 第十一回機友会懇親会

毎年恒例となりました「機友会懇親会」が建学祭期間中の平成九年一月三日湘南校舎「松前会館」にて開催されました。

ご来賓として同窓会会長櫻井次郎様、同窓会事務局長星野尚文様、東京支部より増澤康雄様又、多数の教職員の先生方をお招きして総勢八十名にて和やかに開かれました。

まず平成一〇年四月より機友会会長に就任された伊藤和義(一九六五年度卒)新会長から、ご来賓・教職員の先生方及び會員の方々にご集集のお礼、そして河西前会長が築かれた実績を更に多方面に「和」をもって積極的に広げてゆきたいと挨拶が



松前会館にて

ありました。

次に学科を代表されて主任教授林守仁先生より、新しく導入された「メスター制度」の仕組みや、同日催されている「オープンキャンパス」に於いて動力機械工学科は非常に人気良く将来に期待が出来る事、又機友会活動が他学科より高く評価されているとお褒めのご祝辞を頂戴いたしました。

引き続き、ご来賓を代表されて同窓会会長櫻井次郎様より同窓会活動により盛り上げる為に各学科同窓会に卒業生数と活動評価とに応じた支援を近々に具体化するとの朗報が披露されました。この後岡田隆夫(一九六四年度卒)顧問の指揮で「東海大学校歌」斉唱を行いました。

「乾杯」の音頭は河西正彦顧問(一九六六年度卒)にて行われ、和やかな歓談へと進行された後、お子様は「超人気」のビンゴゲームは小杉伸一(一九七五年度卒)の名司会にて大変盛り上がり、一人て三個も景品を抱きかかえた満足そうな笑顔がとても印象的でした。きつと来年も参加して下さる事と期待しております。

この懇親会も早十一回目となり過去に参加されたお子様達が東海大学に進学される「縁」も出てくるなど、歳月を重ねた事に感謝すると共に、懇親会は会報(年二回発行)と異なり、参加者の「相互情報」交流の場であり、参加者も①各界(同窓会・学科卒業生・在校生)②地域(日本各地・全世界)③年令(大人から子供まで)④性別等々の制限が無い為に「和やかで「楽しい」と自負しております。

報告 平成九年度卒業研究発表会・ 謝恩会開催される

平成一〇年二月二三日に工学部動力機械工学科、そして二六日に第二工学部機械工学科の卒業研究発表会が湘南校舎及び代々木校舎で開催されました。

動力機械工学科では、従来の各研究室での研究成果の発表と併に新たな試みがありました。

それは「開発コース」の「ホットロッドカー」の設計、「F1シャシ」の設計、「F1エンジンの設計」について、コメンテーターとしてレーシングドライバーの鈴木利男氏をはじめ自動車雑誌の編集者、企業的设计担当者らが出席したことです。会場には二年生達



コメンテーターのレーシングドライバー鈴木利男氏
(写真提供:東海大学新聞)

是非一度皆様「ご家族にてご参加」をお待ち申し上げます。
最後になりましたが、今回も大学及び同窓会からお祝いを頂戴致しました。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。
(記 機友会理事 内山 皓)

も詰めかけプロの質問に聞き入りつておりました。

発表会終了後に卒業生全員による謝恩会が第一ホテル海老名にて盛大に催されました。

機友会はその場をお借りして、学科へ平成一〇年度研究補助金を伊藤会長より林主任教授へ贈呈いたしました。

なお、第二工学部機械工学科卒研発表会の記念撮影写真は卒業式の日に機友会より卒業生の皆様に贈呈されます。

また、謝恩会は卒業式の後に開催される予定です。
(記 機友会理事 大矢 暁)



第二工学部機械工学科卒研発表会の記念写真

都市景観の輝きのなかに、 新日軽が息づく。

新日軽

新日軽株式会社 本社/東京都江東区木場2-7-23 〒135-8511 広告宣伝室 ☎03(3820)2245



海外で活躍する卒業生

「海外生活における設備投資の難しさ」

横浜ゴム(株)MB生産本部・MB生産管理部 根本圭一



日本への帰国前日工場にて、気温 43°C (1997年)

我が社のMB (Multiple Business) 部門において、アセアン諸国のタイランドで自動車のフロントガラスとホテールの間のシーリング剤を生産する事が、九六年六月に日本工業新聞社等にて発表され、九七年八月より生産開始のスケジュールに向けて、九七年の二月から八月の間、タイランドの現地工場での生活が始まった。まず、最初の三ヶ月間、日本人は私を含めて一人だけで、日本から輸出した設備の税関手続き・設備の搬入・据え付け・配管配線工事を全て行った。当然、業者は全て現地を探し、運搬および施工を行った。また、現地へ合弁会社のスタッフも協力してくれたが、何せ考え方が合わない、仕事に関してはよく討論・喧嘩をした。この時に身についたのが、「相手をどうやって説得するか」という折衝技術である。

海外で苦労した点といえは、言葉もそうで



記念写真、ThailanderとJapanese (1997年)

あるがもと大変なのは、実は文化・風俗の違いであった。なるべく彼らの意見を取り入れたが無理な物は無理。ただし、私も譲れる最低のラインは心にしっかりと引いて毎日毎日トライをした。でも、つまらないことばかりではなく、日本風に仕事の後、屋台へ皆で酒を飲みに行き、英語とタイ語と日本語のチャンポンで会話をしてみたいという事もある。屋台は当時で五人で行って千円ぐらいであった(当たり前だが、全部私が払う。タイ人にとって高額である)。

最後に、私の仕事はフロントの設計であるが日本から持参したのは、「設計便覧」だけである。これさえあれば世界どこでも設計できる事を海外で実践立証してきた。動力機械の学生さんも卒業すると私の言葉が身にしみて判ると思います。

(一九九二年度大学院修了)

海外で活躍する卒業生

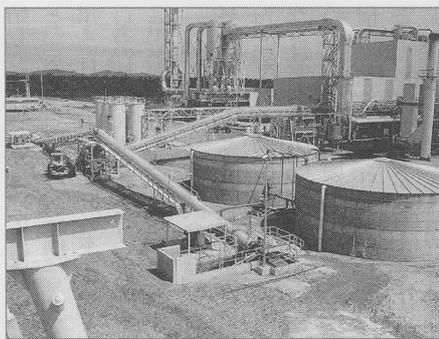
「技術者として」

ウフサワエンジニアリング(株)営業技術部 小澤伸次



昨年、オーストラリアのタスマニアに世界最大のMDF (Medium Density Fiber) 工場が建設されました。我が社が受注したのは、Chip Preparation Systemとい、工場の最上流工程に当たる設備の設計・製作・据付でした。日本から輸出した機器もありましたが、税金の関係もあり、主要機器以外は全て現地の業者で製作しました。

Chip Preparation System を簡単に説明すると、何種類かの木材チップの原料を受け入れて、一時保管し、とはいつても二立方メートル以上保管できる、しかも別々に保管して異なる種材を任意の割合で混合し、スクリーニングして



スクリーン、コンベア設備 (1997年)

選別した良い材料のみを後工程へ送るというものです。これらの機器は中央コントロール室より全て自動制御されています。

現地の業者を使って製作、据付したわけですが、現地の人は休日や余暇を大切にしているので、よほど事前におこなないと残業や休日出勤はしません。日本的に納期短縮のため残業、休出という考えはあまり無いよう困った事が何度もありました。

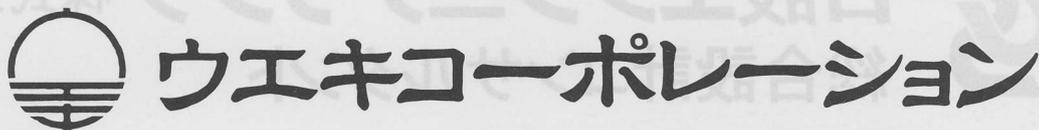
タスマニアもそうでしたが、基本的に一つの現場は一人に任せられます。大変ですが、その分やりがいのある仕事だと思います。現場では当然ですが物が形になって見えます。自分で設計した物に対しても、次はここをもっと合理的にしたいとか、図面で表わしきれなかった部分があるのを見えたりとか、新しい発見の連続です。四年前に今の会社に入社しました。それ以前は、自動車の設計をしていました。業種は違いますが、自分で設計した物が実物となり存在する。これは、技術者として一番誇れることではないでしょうか。

(一九八五年度卒業)



50トン式トラックダンパー (1997年)

東芝特約店(金属・新素材) 金属材料・新素材・金属CVD装置・半導体用ガス・各種設備(設計・施工)の専門商社



本社 〒146-0085 東京都大田区久が原5丁目33番10号

TEL (03) 3753-2211 FAX (03) 3753-7117

支店: 東北・関東・関西中部・九州 営業所: 仙台・埼玉・名古屋・大阪・北九州・大分

出張所: 北上・新潟・四日市 事業所: 泉・姫路・北九州・大分・小向・堀川町・横浜

本社勤務 水口 直 (S47年修士卒)
 本社勤務 日向野保雄 (S52年卒)
 本社勤務 七澤浩史 (H6年卒)
 本社勤務 外谷浩一 (H8年卒)
 本社勤務 中台武志 (H9年卒)

会社訪問 日設エンジニアリング株式会社

今回の訪問先企業は、日設エンジニアリング株式会社です。

同社は、日本でも有数の複合エンジニアリング会社で、東京の新都心である西新宿に本社を置き、全国に支店網を展開する躍進中の企業です。

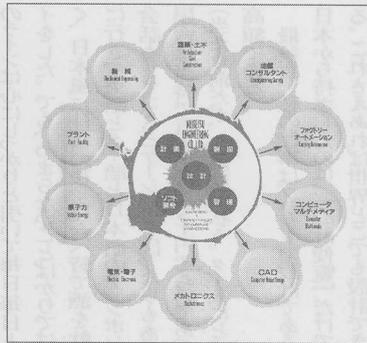
当日は石橋先生、伊藤会長、関理事、増澤理事、大矢理事、私(石井)の六名で伺いましたので、報告させていただきます。

当日は同社の応接室にて平野副社長をはじめ浅見次長、星野支店長代理、清原人事部長、営業の菊池さん、鴨田支店長(機友会理事)がご多忙の中を「対応いただき感謝がまわりました。

まず、伊藤会長より日頃の機友会に対する日設エンジニアリング株式会社のご支援と平野副社長のご支援に感謝の意が述べられまし



本社ロビーにて



エンジニアリングシーン

た。続いて平野副社長から会社概要の説明の前に「会社内を見学されては、との」提案をいただき早速本社内を見学させていただきました。本社内部は、バリエーションで各部署に区切られて、設計事務を専門とされるに相応しい配置となっており、特に機械科卒業生としてコンピューターによる設計業務の設備に関心が集まりました。その後応接室に戻り、平野副社長から会社概要のお話を伺いました。

同社は、昭和三十八年に設計事務所として創業され、構造設計を主体として受託業務を開始し、昭和四八年には「建築・土木」に加えて「機械」「プラント」「電気・電子」部門のエンジニアリングに進出しました。昭和五四年には、茨城県日立市に「日立支店」を開設して、原子力プラントのエンジニアリング業務を強化し、同年にコンピューター部門を新設し、運用管理業務にも進出しました。昭和五八年にはメカトロニクス分野に進出し、CAD利用技術の研究開発を強化。昭和六一年にシステム開発業務に進出し、ソフト開発及びCAD利用技術開発を強化。同年特定労働者派遣業登録、技術者のプロジェクト派遣事業を開



伊藤会長と石橋教授

始しており、現在も業務拡大に邁進中であるとのご説明でした。営業の範囲は東北から九州まで日本全国十二個所の本支店網で千二百名の社員が活躍されており、その内二十一名が東海大学の卒業生とのことでした。

日設エンジニアリング株式会社は、人を重んじることを基本とされ、人間性がエンジニアリングを変えると言われて、説明に使用された会社案内から引用しますと……「ひとつのプロジェクト設計の要となるキーマンは、お客様自身です。そして、日設エンジニアリングはお客様をあらゆる角度から支えるサポーターです。つまり、お客様がより付加価値の高い優れた仕事をなし、実力を十二分に発揮していただくために、私たちは設計を取り巻く多種多彩な業務を手掛ける技術者集団でありたいと考えています。こうしたことから、私たちは「技術者である前に、人間であれ」を大切な心構えとしています。たとえば、机上の設計のみとらわれて現場を知らなければ、本当の技術者とはいえません。今の時代でも、理論に頼るだけでなく現場での基礎ができていなければ、技術者としての感性は磨かれませんが、お客様に真に必要な人材となるため



本社設計室

の姿勢を持つことが、すべての基本と考えています。つまり、ハイテクローを最大限に駆使しながら、知性や感性など人間性をも融合させていくこそ、日設エンジニアリングが提唱する「複合エンジニアリング」なのです。今後、産業界の基点として、あらゆるニーズに柔軟に対応できる技術者集団として、社会に貢献し続けていきます。」と記載されており、社員教育にも力を注いでいるとのことでした。

会談は当初予定されていた時間を超え、二時間半が瞬く間に過ぎてしまいました。終了後、就業時間も終わりましたので、平野副社長のご厚意により会社近くで懇談いたしました。そして、私達卒業生にとって躍進する諸先輩がいることに感激を覚え、これから卒業する方々には、大変勉強になる会社であると思う一日でした。

最後に今回お世話になりました日設エンジニアリング株式会社の平野副社長を始め関係者の方々そして諸先輩の皆様にお礼申し上げます。

(記 機友会理事 石井克昌)

日設エンジニアリング株式会社 総合設計コンサルタント

東京本社 / 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル22階

TEL.03-3346-7733(代表) FAX.03-3346-7736

大学同窓会 東海大学 学園だより

長野五輪で卒業生 学生らが大活躍!

里谷、原田が金メダル
同窓会員の応援に感謝

今世紀最後の冬の祭典、冬季オリンピック長野大会が二月七日から十五日間の日程で開催されました。連日の熱戦にテレビの前に釘づけになられた方も多いことでしょう。学園からも学生、教員、卒業生ら八名の選手が出場、金メダルを獲得するなどの大活躍に、感動を深められたのではないのでしょうか。選手以外にも、北海道東海大学北方生活研究所の上杉宏講師がスキー・ノルディック複合の監督として、また阿部雅司さん(第四高校八十二年卒)が同競技のコーチとして参加。そのほかにも事務局や医療関係、ボランティアなどで多くの学園関係者が大会運営に携わりました。



里谷多英選手

原田雅彦選手(第四高校八十六年卒雪印)のジャンプを息を吞んで見守った方も多いことでしょう。原田選手は見事にシビルジャンプで

銅メダルを、そして団体の金メダル獲得に貢献しました。また、ノーマルヒルジャンプには原田、船木選手らとともに葛西紀明選手(第四高校九十年卒地崎工業)が出場、七位に入賞しました。

男子モーグルには北海道東海大学三年の附田雄剛選手(国際文化学科)が出場。活躍が期待されましたが、予選十八位でまかの敗退。力を出し切れずに残念な結果となりました。

日本からただ一人の選手としてリユニオン男子一人乗りに出場した牛島茂昭選手(第四高校九十五年卒・仙台大)は、最終成績十六位で同種目の日本選手最高位をマーク。またスピードスケートの女子一五〇〇に出場した外ノ池亜希選手(第三高校九十六年卒・アルヒコ)は、地元長野の声援を受け、十六位に入りました。

東海大学の卒業生として唯一出場をはした大石博暁選手(東海大学体育学部九十二年卒・トロバリー)と、井上将憲選手(付属浦安高校九十年卒・同校講師)らの日本ボブスレーチームは四人乗りで大石選手、井上選手らの日本Aが十六位となりました。

同窓会員の皆さんの熱い応援に、感謝いたします。

九十七年度同窓会総会 建学際の湘南で

一九九七年度の東海大学同窓会定期総会が湘南校舎建学祭期間中の十一月三日、同校舎八号館で開催されました。会場には全国各地から家族連れなど大勢の同窓生が集まり、海外からもタイ支部のダナイ・チュラチタ支部長(工五十九電力)夫妻、台湾支部の盧頭仁支部長(工六十六建築)夫妻らが出席し、盛大な総会となりました。

総会の挨拶で櫻井次郎会長は、間近にせまる同窓会二十万人体制に向けての決意を語り、健全な運営のための資金活用の方角制



同窓会定期総会

を説明すると同時に、「支部活動の活性化のために具体的な計画が必要だ」と強調。先の代議員会で決定された改革案を報告しました。

特に重要である報告された改革案は、支部活動を支援する「支部還付金」を「支部活動助成金」と名称を改め、今後はその活動実績に応じて助成金額を決めるといふもの。限られた同窓会費を平等かつ効果的に活用するという主旨で、総会で満場一致で承認となりました。

当日は松前達郎総長、松前紀男学長ら多くの教職員も来賓として出席。同窓生らは恩師との再会に会話を弾ませました。松前総長は「同窓生の皆さんの社会的活動が、大学にとって大きなエネルギーとなる。今後は大学と同窓生が具体的な問題を通じて連携できるような場をもつていきたい」と挨拶されました。

また松前学長は大学の現況を報告し、「二十一世紀に価値ある大学として教育のみならず研究面でも社会貢献を果たしていきたい」と語り、その一歩として「東海大学環境憲章」の制定を発表。とともに地球環境保護に立ち上がることを呼びかけました。

なお当日、同窓会から松前重義記念基金に対して百万円の寄付が贈られました。同窓生たちはキャンパスの発展に驚きを示しつつも、久

しぶりの母校を楽しんだ様子。建学祭の華やかな雰囲気とともに、さわやかな秋の一日を満喫していました。

お知らせ

◎「東海カード」にご加入下さい

東海大学同窓会ではクレジットカード機能(VISA、マスターと提携)を持つ「東海カード」を発行し、同窓会員のサービス活動を展開しています。提携する宿泊施設、レストランでのご利用やショッピングの際に独自の特典・優待制度が設けられているというものです。

同窓会事務局では会員の皆さんに「理解いただき、ぜひ「東海カード」にご加入していただきたい」と考えております。ゴールドカード、家族会員カードの発行も可能ですので、同窓会事務局(〇三三四八五九四〇)までお問い合わせ下さい。入会申込書を折り返し送付いたします。

◎九五年度版会員名簿のご案内

現在、同窓会名簿の九五年度版が発行されています。この会員名簿は、総ページ数二千三百四十七ページで、約十七万人のデータが掲載されています。五十音順の会員名簿に加え、年次別総覧、日本語研修課程修了者、さらには東海大学の沿革現況を紹介するカラーグラビアのページもあります。頒布価格は一万三千元です。購入ご希望の方は同窓会事務局へご連絡下さい。

なお、名簿の乱用によると思われるセールス等の苦情が多くの会員から寄せられており、事務局でも対応に苦慮しております。名簿の管理や利用の際はくれぐれも注意下さい。名簿は会活動の基盤となるものです。発行に「理解」と協力をお願いいたします。今後には、掲載する個人情報内容について会員各自にアンケートを取り、一部を削除するなど配慮する方向でも検討を進めています。

Kanto Denshi

複雑形状の部品整列に

パーツフィーダー

自動化設備のトータルプランナー

関東電子株式会社

Head Office 千葉県長生郡長南町市野々1648 TEL.0475-47-1188.
Yokohama Office 横浜市磯子区原町7-29-402 TEL.045-761-4841

代表取締役 関 忠好(昭50年卒)

〒108-0072
東京都港区白金1-7-20
TEL:03-3444-2481(代)
FAX:03-3444-2482

信友印刷株式会社

代表取締役 大矢 暁(1978年度動力機械卒)

学科だより
無題
第二工学部機械工学科教授
小林 學



『遠い遠い空の色だなあ』と倉田百三は「出家とその弟子」の中で言っている。高校生だった私は、その言葉に胸をしめつけられる思いを禁じえなかった。

六十七年の歳月が流れ、いま学園を去らんとしている。そして、故松前重義先生の『若き日に汝の思想を培え、...若き日に汝の希望を星につなげ』の言葉をかみしめている。げに、『若き日に』である。遠慮なき酔生の過去に、私はただ涙するばかりである。深淵を前に、ただ戦くばかりである。

(元工学部動力機械工学科および第二工学部機械工学科主任教授)



学科だより
大学を去るに当たって
工学部動力機械工学科
小野寺弘



平成二年四月より動力機械工学科の技術職員として奉職し、主として設計製図と就職業務のお手伝いをさせて頂き大過なく勤務を終えることが出来たことは皆々様の温かなご支援の賜と深く感謝申し上げます。

振り返って見ると、楽しさが連続する毎日でした。春の新人研修会、夏の教職員研修会、園遊会にソフトボール大会そして、その練習と反省会、生産機械工学科との合同卒研発表会や忘年会また春風会行事や納会。入学式に卒業式、建学祭や新年式で建学の歌や校歌を唄うのも楽しみの一つでした。親交会行事も毎年参加させて頂き海外を含む数多くの旅行に行き、多くの佳人とお知合いになり四端子同好会、囲碁将棋同好会の方々もふくめ、その後の業務運営上、並々ならぬご便宜を計らって頂き毎日楽しく仕事が出来ました。

小生は企業出身で大学業務のことを何も知らずに就職しましたが先輩ならびに諸先生方の的確なご指

示、ご指導により何とか恥をかかず仕事をごなし更にコンピュータの勉強をさせて頂きとうにか一太郎とロータスを業務の内に取り込み楽しく楽に仕事ができる様に成りましたことを重ね重ね深く感謝申し上げます。次第であります。

いままですさわつて来た業務のなかで感じたことは、技術革新のテンポは総ての面で早く、老人の知識は日々陳腐化しており、新しい知識を常に注入する気構えや勉強を忘れてはならないと云うことを強く感じました。

最後に、今後同じ様な業務に就かれる方や、就職される学生諸君に贈る言葉として一言。それは「物事の本質を見失うな」であります。仕事でも勉強でも物事の考え方も同様で、具体的目標を達成し結果を出すための方法は一つとは限らず種々の方法、ルート、考え方があります。その途中で複雑な問題点が沢山でると「狛師山に入りて山を見ず」の状態になる事が多々あります。この様なとき物事の本質を見つめ直し、これは何の為にやっているのか、目的は何なのかなど、いたずらに枝葉末葉に拘っている自己の考えや行動を冷静に自己修正する機能を持つべきものと考えます。汝の希望を星につなげるためにも、必要な言葉ではないかと思えます。

皆様におかせられましたはストレスを持たず健康第一で活躍されることを祈念いたしまして退職のご挨拶と致します。長い間本当に有難うございました。

学科だより
退職にあたって
工学部動力機械工学科
宮田こずえ



この度、平成一〇年三月三十一日付で退職する事になりました。高校を卒業して五年間という短い期間でしたが先生方や職員の皆様には大変お世話になり、本当にありがとうございました。

伸び伸びと、とても恵まれた環境で仕事ができ感謝しております。しかしその反面つらい事も少なくありませんでした。自分に甘えて、また周りにも甘えてしまっていた部分もあり、ご迷惑をおかけしてしまつた事も多かったです。先生方や職員の方のフォローでなんとか切り抜けて出来ました。特に事務の藤原さんには、仕事上の相談以外にも私のプライベートの面でも相談にのって頂いたり、私の長話を聞いてもらつたりと、その他の事でもいろいろと助けて頂きありがとうございました。今後、更に学科及び機友会が良い方向に発展していくことをお祈りしております。

本当にお世話になりました。

メカトロニクス研究開発

イスタン技研株式会社

資本金 5,000万円

取締役社長 河西正彦 (昭和41年度機械科卒)

(イスタングループ 従業員総数2,000名)

営業所: 神奈川、埼玉、大阪、山形、長野、茨城

工場: 神奈川、山形

○放電加工機及び周辺機器、電極

○メカトロ専用機、電子機器、精密金型、治工具

本社 〒242-0024 神奈川県大和市福田6-9-21 TEL.0462-69-9911(代)

内外国の特許・実用新案・意匠・商標・サービスマーク・鑑定 等

発明・ノウハウの相談受付 特許権も担保として融資実施化

岩堀特許事務所 〒107-0052 東京都港区赤坂4-3-1 共同ビル赤坂613号 地下鉄赤坂見附駅・赤坂駅下車3分

弁理士 岩堀邦男(66年機械卒、91年通信卒) 電話東京03-3587-1625

在校生の声

大学生活を振り返って…

工学部動力機械工学科四年 谷田 弓野研究室
謝恩会幹事長

浅井 尚



入学してから早くも四年間が経ち、卒業まで残りあとわずかとなりました。入学当初は、広いキャンパスに多くの学生が通い、すし詰めの教室で講義をうけるといって、混乱した状況にあり、この間のことのように思い出します。

私にとつての大学生活四年間を、振り返ってみると、クラブ活動のことが一番に浮かんできます。大学へ通学する理由としては普通、講義をうけるためですが、私の場合クラブ活動のために通学していたといつても過言ではありません。そのため、若干学業をおろそかにした感もありますが、今思えばクラブを通じて、先輩、後輩また仲間同志との、縦横のつながりや、個性豊かな人々と出会うことができ、大きな財産となりました。

卒業間際になって気づくのも遅いですが、大学には多くの可能性が詰まった宝の山のようなものでもあり、見方によってはゴミの山にもなると思います。そこで、自

在校生の声

四年間を振り返って

第二工学部機械工学科四年 高橋研究室 清水 大輔



東海大学に入学してから早いものでもうすぐ卒業である。長いようで、短かった四年間の学生生活が終わろうとしている。第二工学部という勤労学生が多く、さまざまな年齢の人達が自分と同期になっている環境で学校で学ぶ知識の他に、多くの社会勉強を得たと思う。

この大学四年間を振り返ってみると、この様な人達と出会い、話し合えたことが一番良かったと思つている。すでに社会に出て、上司になるような年齢の人達と会話をすることで、様々な情報に対し社会的判断の方法や、自分の行動に間違いがあれば注意を受けたりもし、通常の大学ではなかなか経験のできないことを得た。このような大学生活で自分の社会的知識の乏しさを知り、まだまだ勉強不足であることを実感しながら、自分の進むべき道が少しずつ開けたように思える。人間として成長途中である自分は、社会に出て前に進むつもりが右左に曲がったり後戻りしたりすることがあるだろうが、学生時代に経験したことをもとに積極的に様々な人達との出会いを大切に

にして色々な事を学び、自分の中に取り入れることで、少しずつ前に進めるように努力していこうと思つている。

大学という恵まれた環境で四年間、多くの先生方の講義を受けさせていただき、楽しくもまた難しい講義の中から、自分にプラスになるものを得られたこと、その中でも新しいものを発想する楽しさ、難しさを多く学んだように思う。人それぞれ得たものは違うと思いますが、得るものがあつただけで大学にきた意味があつたと思ひますし、それなりの充実感に現在はあふれている。

一年生の時に比べて四年生の今では一日の時間がとても短く思われる日々を送つており、それだけ大学生活を楽しみながら、新たな発見を探している毎日、卒業の日が近づくにつれて、さらに一日の時間が短く感じ始めることだろう。そして、焦ることのないように自分のペースを守つて、楽しみながら、ゆつくりいこうと思つている。この様に低学年から高学年になるにしたがつて充実した日々を送れたことが自分が胸を張つて誇れるところである。

このような大学生活を楽しく過ごさせてもらったことを感謝しながら、今までの経験を生かし、残り少ない大学生活を一日一日大切に無駄がないように過ごして行きたいと思つている。最後に、この場をお借りしまして、お世話になりました先生・職員の方々ならびに多くの友人に心より感謝いたします。

FINE.T 超硬工具・製造販売
治工具

ファインツール株式会社

〒211-0954 神奈川県川崎市幸区小倉1650

TEL 044-588-0122(代)

FAX 044-588-0136



教育用・病院用機材の
コンサルタント

東海教育産業株式会社

代表取締役 谷越安男

本社 神奈川県伊勢原市下粕屋164番地 ☎0463-92-1881(代)
湘南営業所 神奈川県秦野市南矢名1丁目5番13号 ☎0463-78-5671(代)

会長より 他の同窓会との連携

私は、機友会会長就任当時、機友会活動の一環として、他同窓会との連携を図るべきと申し上げましたが、他同窓会の夫々の事情もあり、思っていた程 簡単ではありませんでした……

(まずは、触れ合いから)

機械系同窓会は工学部動力機械工学科および第二工学部機械工学科・工学部生産機械学科・工学部精密機械学科の三同窓会がありますので、まずは、それぞれの会長三名でお会いすることに致しました。代々木の居酒屋で酒を酌み交わしながら、雑談を含め同窓会活動の課題と、活性化について話し合いました所、何と午後六時より四時間近くも歓談し、初対面ながら、時が立つのも忘れるほどでした。

(課題へのチャレンジ)

一、同窓会活動の基本は、会報発行の継続に加え、内容の充実であり、今後これら等を推進発展させる為、お互い努力し、協力することで、意見が一致いたしました。

二、個人の活動を中心とした、名簿作成もおもしろいテーマであり、今後チャレンジしたい等々であった。

(機友会会長 伊藤和義)

学科だより 機友会賞受賞者

機友会賞は、学業によく励み、またクラスの団結に寄与した学生、あるいは特別な努力や学科のために非常に貢献した学生に授与される賞です。今年度は卒業式当日に次の学生(敬称略)に授与されます。おめでとうございます。

会長賞(四名)

- 40MD1109 小川 良
- 40MD2235 山際 秀和
- 40MD3213 小池 雅裕
- 40NM1121 原 淳

機友会賞(十二名)

- 40MD1101 大沼 敦
 - 40MD1201 青池 宏之
 - 40MD1221 高橋 賢
 - 40MD2117 佐藤 宏明
 - 40MD2201 青柳 健一
 - 40MD2228 東 正高
 - 40MD3201 浅井 尚
 - 40MD3207 大曾根 道
 - 40MD3208 小川 健彦
 - 40NM1131 渡邊 恭治
 - 40NM1205 海老原輝行 豊
 - 40NM1230 脇田 豊
- 平成9年度卒業生の中から次の方々が機友会の理事及び評議員に選出されました。よろしくお願ひします。

機友会理事(四名)

- 高橋 賢、青柳健一、大曾根道、飯田堅基

機友会評議員(四名)

- 大沼 敦、東 正高、浅井 尚、渡邊 恭治

学科だより 機友会会費納入者

十年会費納入者

- 奥脇鉄也、仁藤総雄、吉井一真、永井一仁、河合明比古、杉山晴一、瀬藤武、山口克宏、篠崎和弘、田中浩明、近藤正一、田替寧、芦田正利、杉山伸幸、藤井恒亮、佐藤百一、三崎純一、増沢康雄、小川均、佐川高紫、植田勲、岡崎学、山口隆士、石原明、後口能成、富樫勉、保倉清太郎、東豊、堤嘉光、松下智行、高間信行、檜山正高、清水直之、小原博人、朝倉信一、植木秀雄、西岡司、谷野隆彦、窪田一彦、宮崎博彦、金沢龍助、市川雅司、岡田隆夫。

(以上四十三名敬称略) 寄付金カンパも含まれます。

編集後記

一年は早い物でもう卒業式の季節となりました。今回は会報も時代に合わせ写真を多用し読みやすくしたつもりです。台湾の陳先輩との交流そして海外で活躍されている卒業生の原稿を編集するに当たり日本人は本当に特殊な人類なのかと思う反面、最後は人と人のつきあいと解決できるのだと感心させられました。いま大学の卒業生を祝福すると共に、新入社員である彼らの力をどうやって引き出してやれるか我々のマネージメント能力が問われる時代なのではと考えてしまいます。それにしても不景気の折り、会の資金不足は頭痛の種であり、皆様のご援助を節に願う次第です。

東海大学機友会平成8年度会計報告

平成9年3月31日現在

収入の部 (単位 円)	支出の部 (単位 円)
前年度繰越金 4,546,735	事務諸経費 339,950
平成8年度生会費納入金 1,940,000	会報発行経費 2,836,030
既卒者会費納入金 1,160,000	名簿発行経費 363,281
賛助会員会費納入金 230,000	卒業生勧誘事業経費 493,333
会報掲載広告料 1,530,000	理事会諸経費 92,501
懇親会費および御祝儀 195,000	懇親会諸経費 764,910
既卒者カンパ 265,000	賛助会員勧誘事業経費 371,789
名簿売上 112,500	雑費 119,384
預金利息 1,460	小計 5,381,178
合計 9,980,695	次年度繰越金 4,599,517
	合計 9,980,695

平成10年2月22日 上記監査の結果、相違の無いことを認める。

監査 佐々木 新、伊藤 昌夫



EBARA

最上の技術とサービスで広く社会に貢献する

荏原サービス株式会社

〒144-8677 東京都大田区羽田旭町13-3

TEL 03-3743-7386 (人事課直通) E-mail:job@esv.co.jp